

## 平成 29 年度第 4 回介護保険運営会議録

日時：平成 30 年 2 月 26 日（月） 午後 7 時 00 分 ～ 午後 8 時 13 分

場所：二宮町役場 第 1 会議室

出席者：介護保険運営協議会委員：11 名協議会

事務局：健康福祉部長・福祉保険課長・介護保険班長・介護保険班員 2 名・健康づくり課長・健康長寿班長・地域包括ケアシステム担当課長・地域包括ケアシステム班長・地域包括ケアシステム班員 1 名・地域包括支援センター職員 1 名・(株) 名豊 1 名

### 次第

1. 開会

2. あいさつ

3. 議題

(1) 二宮町高齢者保健福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画（素案）パブリックコメントの報告について

(2) 二宮町の介護保険施行状況について

(3) 地域支援事業について

(4) その他

・条例改正（案）について

## 会議の状況

午後 7 時 00 分 開始

あいさつ

会 長 今年度最後の開催となります。議題は多いが、活発な意見交換をお願いいたします。

事務局 議事に沿って進めたいと思います。

議事につきましては、規定により会長が議長になっておりますので、よろしくをお願いいたします。

会 長 それでは、二宮町高齢者保健福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画（素案）パブリックコメントの報告について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 （資料 1 及び二宮町高齢者保健福祉計画及び第 7 期介護保険事業計画（素案）について、前回からの修正点を説明）

会 長 事務局より説明がありましたが、委員の皆様ご意見等はございますでしょうか。

（意見なし）

会 長 続きまして、二宮町の介護保険施行状況について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 資料 2 ～ 4 説明

会 長 事務局より説明がありましたが、委員の皆様ご意見等はございますでしょうか。

委 員 平成 29 年度の居宅療養管理指導の計画値が大きく上がっているが、理由は何でしょうか。

事務局 資料 3 - 2 の平成 29 年度計画値の一部が誤っていたため、修正いたします。

委 員 居宅サービスの計画対比が 100 パーセントを超えているものがありますが、在宅介護の方が増えているということでしょうか。

事務局 100 パーセントを超えているところは、計画値より利用が増えているということです。

会 長 続きまして、地域支援事業について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 (資料5、6説明)

会 長 事務局より説明がありましたが、委員の皆様ご意見等はございますでしょうか。

委 員 成年後見制度利用支援事業は、どのようなことを行っているのでしょうか。

事務局 認知症で財産管理ができない方等には、通常は成年後見制度のご案内をしていますが、身内の方がいない場合等に、家庭裁判所への申し立てを代行しています。また、資力の少ない方に対して後見人への報酬の助成も行っています。

委 員 平成28年度の実績はどのくらいですか。

事務局 新規の申し立てが1件、報酬を助成している方が1名です。

会 長 その他、条例改正(案)について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 (資料7説明)

会 長 事務局より説明がありましたが、委員の皆様ご意見等はございますでしょうか。

委 員 介護保険料について、第6期から変更はありますか。

事務局 第6期から変更はありません。

委 員 第7期介護保険事業計画について、施設職員の処遇について触れられていないようです。

委 員 近年介護現場は人手不足で、施設は雇いたい人を選べる状況ではありません。昔は予算もあって人手も足りていましたが、現在の状況では介護職員の意欲も上がりません。ケアマネジャーにしても、利用者に会いに行く時間より机に向かっている時間の方が多く、このままでは介護現場は増々荒廃していくと思います。

委 員 市町村のサービス計画を支えるための、マンパワーが足りているか、足りていないかの調査は神奈川県からありますか。

事務局 特にそのような調査はありません。

委員 介護職員の不足は施設としても認識しており、今後増々不足すると思います。そのような中、介護職員の基準を厳しくするのはいかなるものか。このような現場の声を県・国に届ける仕組みが必要だと思えます。

事務局 生活支援体制事業、総合事業に移行する前に、デイサービスやヘルパーの事業所にヒアリングを行っておりますが、やはり人材不足を深刻に受け止めており、平成 28 年の夏の調査では、町内のヘルパーの事業所職員の 4 割が 60 歳を超えています。現在のところ具体的な手立ては難しいですが、一般町民の方にこの状況を知っていただくため、地域の通いの場でこのような状況を漫画で伝えながら、今後足りないものを一緒に考えていきましょう、という投げかけをしているところです。介護職員の意欲についてですが、老人ホーム等の職員に認知症についての普及啓発を地域の方と一緒にやりませんか、という投げかけをしているところです。このようなところから、意欲や楽しみが見つかる手がかりになればと思います。

委員 入所施設の定員割れがあるようですが、通常は利用者が入りたくてもなかなか入れない、という状況の中で定員割れというのは、行政の指導等が必要なのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

事務局 指導については県と連携しながら行っていきます。

委員 医療と介護の連携についてですが、元々これらは異質なものなので、くっつけるというのは難しいとは思いますが、例えば、入院されている方が退院する段階でケアマネジャーが会議に入り、医療と介護の仲立ちをする、という方法もあり、ケアマネジャーの役割が今後重要になってきます。ケア会議等でそういった話は出ていますか。

委員 ケア会議でも意見は出ており、ケアマネジャーが多職種をつなぐ役割をするのは重要になると思います。来年度、医療介護連携が推進できるような体制を整える新規事業を、医師会と相談しながら進めていくところです。

委員 大変だとは思いますが、医療介護の連携は重要な役割だと思っておりますので、よろしくお願いします。

事務局 ケアマネジャー等の専門職の相談支援も考えておりますので、広報等でも周知していきます。

会長 他にご意見・ご質問等ないので、以上で平成 29 年度第 4 回介護保険運営協議会を終了といたします。

午後 8 時 13 分閉会